



- 近年の子どもたちの様子について、少し気になるデータがありますのでご紹介します。岸和田市教育委員会のホームページに掲載されている「令和元年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果（概要）」という資料です。

<https://www.city.kishiwada.osaka.jp/soshiki/65/r1tairyoku.html>

この資料によりますと、体育の授業が「楽しい」と思う岸和田市の小学生の割合が全国や大阪府平均よりも少なく、「楽しくない」と答える子が多いという傾向が見られます。また1週間の運動をした時間の合計を見ると、男女とも60分未満の割合が増加傾向で、特に女子の運動時間「0分」の割合が深刻で、全体の7.1%にもなっています。

- しかもこの調査は、コロナ禍以前の令和元年度の調査結果です。今のコロナ禍での「家ごもり化」傾向のことを勘案しますと、現在の実態ではますます、子どもたちの「運動不足」や「運動ばなれ」は加速していることが予想されます。私たちの子どもの頃は、「体育」といえば抜群の人気教科だったのですが、今の子どもたちは必ずしもそうではないということがこの調査からは見えてきています。

- 我々大人もおそらくそうなのでしょうが、日常生活での「体力づくり」や「運動不足の解消」について、今まで以上に真剣に考えていかなければならない時代になってきているのだと思っています。

- 「自分の体とは、正に一生涯つきあっていかなければなりません。」体を動かすことを楽しめる子どもたちを、育ててまいりたいと思っておりますし、休み時間には運動場や園庭で子どもたちが元気に遊びまわっている小学校・幼稚園であり続けたいと思っております。

- 朝夕に秋の訪れを感じる今日この頃です。昔から「スポーツの秋」などと評せられるように、秋は運動を行うのにも適した気候です。新型コロナでいろいろな制限はありますが、やはり今の生活を見直して、自分の体の健康を考えていきたいですね。

